

福祉サービス第三者評価結果

| | |
|------|-------------------------|
| 事業所名 | 社会福祉法人 森友会 こころの森こども園 |
|------|-------------------------|

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

令和4年10月1日

③事業者情報

| | |
|---|---------------------|
| 名称：社会福祉法人 森友会 こころの森こども園 | 種別：保育所 |
| 代表者氏名：理事長 立山貴史 | 定員(利用人数) 105名(100名) |
| 所在地：〒870-0130 大分市横尾東町3丁目19-16 TEL：097-520-8822 | |

④総評

◇評価の高い点

○理事長が経営ビジョン（10年計画）を策定し、「永続的に社会に必要とされる法人になるための基礎を培う10年とする。」目標を掲げて、「すべての子どもの最善の利益のために」を保育理念として、より広範に保育サービスの動向等を把握しながら、保育の質の向上にむけて、組織的・計画的に取り組んでいる。

○法人全体の単年度計画として「中長期・短期事業計画令和4年度」を策定し、地域・保護者・社会福祉等の動向を把握、分析して、最重点課題を明確にし、改善に向けて計画的、具体的に取り組んでいる。

○職員の人材育成については、「職員の心得マニュアル」を策定しており、“よき保育者になるため”に具体的に保育者が取り組む、社会人としての基本に必要な項目を掲げ、社会性・専門性・個々の職員の身だしなみ・人権に配慮した保育名等々について、職員一人ひとりが自らモチベーションを高めて、質の高い保育所づくりに取り組んでいる。

○子どもの自主最善の利益を考慮した、「誉める保育」「自主自発の保育」「異年齢交流保育」等、子ども一人ひとりの存在を大事に認め、誉められる事で自己肯定感を育まれ、異年齢交流保育は、児童が多様な集団へ参加することから、協力・共同の社会性が育まれる等々、工夫しながら保育支援に取り組んでいる。

○子どもが大事な存在であることを態度（表情）と言葉で伝えることを大切にし、「誉める保育」を実践している。

○「自主自発の保育」の取組に積極的であり、子供が意欲的に「する」保育になるように保育環境や職員の声かけなどにも留意している。

○保育の計画に「食育の推進」を位置付け、取り組みを行っている。また個人差や食欲に配慮して、食べたい時間に食べたい分量を食べれるようにしている。また園

内で野菜を育て収穫する取り組みなどを行っている。

○3歳未満児については連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。また送迎の際に保護者との情報交換を行い、記録に残して必要なことは職員間で共有している。

○職員が定期的に自己評価、振り返りを行い、互いの学びあいや意識の向上につなげている。

◇改善を求められる点

○福祉人材の確保・定着について、当法人の大分地区の他保育園と情報を共有化しながら、今後とも、計画的に取り組むことを期待する。

○個別に落ち着ける場所のさらなる整備・工夫や防音、吸音の工夫を期待する。

○食物アレルギー以外でも保育所において対応が求められる主なアレルギー疾患についても適切な対応が取れるようアレルギー対応ガイドラインをもとに取り組みを行うよう期待する。

○担任制でないため、相談したいときに誰に相談したらよいかわからないという保護者へ相談方法の周知や3歳以上児の連絡ノートの活用などの取り組みを期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

「すべての子どもの最善の利益のために」を基本理念とする本園の教育・保育の質を更に高めていくため、初めて第三者評価を受審しました。

調査当日にいただいた、現場の実態を踏まえた的確な助言や、今後更なる改善を期待されるとされた項目につきましては、本園の課題として受け止め、よりよい方向へ進んでいけるよう取り組むとともに、教育・保育の質の向上を目指してまいります。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）